

青葉区教育研究会

- 1 研究主題 「社会に開かれた教育課程の創造・実践」
～授業力の向上と研究交流の広がり実践を目指して～
- 2 研究主題について
 - ・授業改善に向けた研修、実践的事例研究、授業を通じた研究
 - ・豊かな心を育てる体験的な行事、他者とのかかわり、交流
- 3 研究方法
 - ・集合型の研究会開催
 - ・Zoom、Google meet 等によるオンライン研究会の開催
 - ・ハイブリッドでの研究会の開催
 - ・他区との合同研究会の開催
 - ・授業動画の視聴による授業研究会（集合開催・オンライン開催）
 - ・Google クラウド、Google ドライブ、全職員共有フォルダ等による情報共有
- 4 年間活動報告
 - (1) 青葉区小学校教育研究会総会 7月13日 青葉台小学校
3月 書面総会の形式で実施
 - (2) 授業を伴う研究会
 - 【A研究部】 11月17日（授業動画視聴による授業研究会・集合開催）
 - 【B研究部】 1月26日（授業動画視聴による授業研究会・オンライン開催）
 - (3) 区主催行事
 - 読書感想文審査会 9月15日 読書感想画審査 12月
 - 児童絵画巡回展 11月～1月 スポーツ交流会 11月～12月

[新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した行事]

児童音楽会・水泳記録会・特別支援教育合同学習発表会・合同宿泊学習
- 5 研究の成果と課題
 - 「学びを止めない」を合言葉に、各教科等研究部が研究内容や開催方法を工夫し、ICT 機器を効果的に活用しながら、集合、オンライン、ハイブリッドによる研究活動を推進した。感染防止に努め、必要に応じて区で開催方法を一元集約し、社会状況に即応した柔軟な研究活動を進めることができた。オンラインの利点を生かして他区と合同で開催する研究部もあった。開催方法に応じてよりよい研究内容を選択・変更し、また集合開催でも可能な限り参加できるよう運営を工夫してきた。
 - 一斉授業研究会は、早い段階で安心・安全を第一に、公開授業を授業動画視聴に決めたことで、授業者も研究部も、見通しをもって準備できた。事前検討における研究の視点に合わせて授業 VTR を編集することもでき、本時だけでなく、単元を貫く研究も可能になった。直前の社会状況の変化に即応し、研究協議会の開催方法を柔軟に決めることができた。その一方で、Google ドライブを使用するために教職員のアカウント集約が必要だった。今後、Zoom 等の基準が緩和されると、さらに選択肢が広がる。
 - 区校長会、世話人校長等に積極的に関わって頂き、各研究部の活性化や人材育成にもつながった。この社会状況を好機と捉え、研究活動を進めていくことで、様々な可能性が広がると感じている。